



富士河口湖町教育センターだより



NO. 3 6 平成22年3月発行



センターで行っている事業は多種あります。継続して実施している生活アンケートでは、児童生徒の家庭での様子を垣間見ることができ、生活指導に役立っています。教育相談においては、保護者や学校、他の相談機関との連携をとりながら、児童生徒の心に寄り添い、つまづいた歩みを一步前に進めるサポートをしてきました。また、先生方の研修等による不在学級への代替派遣も多くの学校で利用していただきました。小さな事業の積み重ねが、先生方・児童生徒の必要であることを励みに、より一層研鑽していくつもりです。教育センターの活動がより公知のものとなっていくよう、「教育センターだより」をはじめとする広報にも力を入れていきたいと思ひます。

来年度も引き続きご支援をよろしくお願ひします。

平成22年度もわずかになりました。関係機関や各校のご理解ご協力をいただき、円滑な運営ができたことに深く感謝申し上げます。教育センター発足以来、地域を生かした学習の計画・実施、教育のサポート等の運営を行ってきました。夏休みを利用して、カウンセリングや理科、英語等の研修会を行いました。先生方が学校ですぐにでも役立つように、実践を中心に行いました。反響もよく、次年度もより内容を充実させて継続していきたいと思ひます。

また、町内の5年生を対象に行っている桂川での水の学習は、全小学校が参加し、川のない地域の児童にとって、川の楽しさや怖さを知るよい機会になりました。学習を通して、他校との交流もできました。学校の枠を取り払いオープンにした形はこれからの教育に必要ななってくると思ひます。新しく交流会を持つことは、多忙の現場においては難しいことです。水の学習が教科の枠をこえて、交流の一端になればと願ひています。

